

令和4年1月 高原町教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和4年1月17日(月) 9時00分～10時00分
- 2 場 所 高原町中央公民館 2階第1会議室
- 3 議事日程
- 第1 議事録署名委員の指名
 - 第2 教育長報告
 - 第3 議 事
 - 報告第1号 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について
 - 報告第2号 定期監査結果について
 - 報告第3号 高原町立小中学校施設整備事業基本計画等策定業務について
 - 第4 その他
- 3 出席委員
- | | | | | |
|------|-------|------|--|--|
| 教育長 | 西田次良 | | | |
| 教育委員 | 有水りえ子 | 福丸幸治 | | |
| | 後藤良文 | 温谷一浩 | | |
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局
- | | | | | |
|-------|-------|-----|------|--|
| 教育総務課 | | | | |
| 課長 | 末永恵治 | 対策監 | 武田透 | |
| 課長補佐 | 中別府和也 | 係長 | 山下浩樹 | |
- 6 会議内容
- ◎開 会 9時00分
- 【1 開会】
- 西田教育長 開会を宣告する。
- 【2 日程第1 議事録署名委員の指名】
- 西田教育長 議事録の署名人に、西田教育長と後藤委員を指名する。
- 【3 日程第2 教育長報告】
- 西田教育長 コロナ感染の状況が急が変わってきている。1月13日に感染拡大緊急警報が発令されて県の警戒レベルが上から2番目の段階となった。都城北諸圏域が赤圏域、その他がオレンジ圏域となり、色々な制限が出てきている。昨日は宮崎市と延岡市が赤圏域に加わったとの事であった。会食や県外往来自粛の制限が出てきている。
- その中で学校は、先月の25日から冬休みに入って1月7日に2学期

後半がスタートしているが、特に大きな事故等の報告はなかった。先週の金曜日にコロナ関係で児童に濃厚接触者が出たとの事だったので午前中授業をして午後に全員下校させている。結果的には陰性との事で本日は全員登校して通常に戻っている。

1月5日に成人式が2年ぶりに行われた。対象成人が127名だったが、65名が出席をして県外からも34名の出席があったが、PCR検査の陰性証明等を提出していただき感染対策を徹底しながら実施した。それぞれが将来の夢について自信をもって自分らしく発表をしてくれた。意見発表で箱根駅伝を走った[REDACTED]さんが校内持久走大会から町に出て行って、県に出て、九州に出て、世界が広がったと話してくれた。1月10日の市町村対抗駅伝大会で本町が6年ぶり3回目の町村の部優勝をした。序盤が10位、11位と心配であったが、小学生を中高生と一般が支えて優勝候補であった三股町を抑えて優勝旗を持ち帰ることができた。優勝旗は、現在町長室に置かれている。

末永課長 (補足説明)

後藤委員 中学校、小学校の卒業式等の来賓関係で後川内のJA所長が前までは出席していたが、後川内出張所が高原に統合されることになり、1月いっぱい後川内出張所が閉鎖されるが、この前の成人式で高原統轄支所長と話をしてJAの方から教育委員会の方に説明をするとは言われていたが、何か聞かれているか。

末永課長 成人式の日には高原統括支所長から聞いて、対策監を通じて後川内小中学校には伝えている。正式な文書等は来ていない。

温谷委員 卒業式と入学式の教育委員会の告示の件に関しては、福丸委員から紙ベースでいいのではないかとの意見が以前あったが、どのような対応を考えているのか。

福丸委員 以前その様な計らいをしてほしいと発言したが、他の市町村も卒業式等についてはコロナ禍で短縮の取り組みをしており、教育委員会告示などについては文書を配布していると聞いている。今後検討してほしいとお願いしたところである。

西田教育長 検討させていただく。

【4 日程第3 議事】

《報告第1号 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について》

末永課長 (資料に基づき説明)

(質問なし)

《報告第2号 定期監査結果について》

末永課長 (資料に基づき説明)

有永委員 この分収造林は、これで終了すれば伐採後の山は、国有林なので国に返して、国が管理していく事になると思うが、今後学校林としては存在しなくなるということか。

末永課長 全ての学校林が昭和24年に設定され、植林、育林されている。その間、在校生、PTA、保護者や地域の方々が保育作業をしていただいた。設定時の国と町の契約期間は60年であったが、木材価格の低迷等から70年と伸びていた。伐採後は、国の計画により植林等がなされると思われる。国と町との契約に関しては終わりという事になる。

《報告第3号 高原町立小中学校施設整備事業基本計画等策定業務について》

末永課長 (資料に基づき説明)

温谷委員 公募が1月13日からとなっているが、現在の問い合わせ等はあるか。

末永課長 現在、県内の1業者が現場を見させてほしいと言われている。

【5 その他】

(1) 小中一貫教育校類型選定について

末永課長 (資料に基づき説明)

西田教育長 小中学校の文化の違いといえば、学級担任制か教科担任制がある。小学校の先生は全ての教科を小学校1年生から6年生までを細やかに丁寧に指導しなければならない。中学校になれば教科担任制になるのでより専門的な指導をする。学校の動きとしても、小学校は学年団という形で低中高の学年の動きだが、中学校の場合は教科の動きとなっていて、教科ごとにグループが作られている。また、部活動の有無もある。中学校の場合は、高校に進学する為の進路指導も入ってくる。このような事が大きな違いではないかと思っている。先生方の教科ごとの

専門の意識の違いといった文化の違いがあるのではないかと考えている。

温谷委員 校歌、校章等を新たに制定する必要があるとあるが、これは小中学校で1つでいいと考えていいのか。

西田教育長 やり方については別々であるとは思いますが、1つかなと考えているが、これもこれから検討していかなければならない。

末永課長 将来的に義務教育学校を視野に入れるのであれば今のうちに校歌、校章に関しては1つにする方法もあるのではないかと考えている。

温谷委員 小規模校はどうして吸収統合されるというイメージがあり、それよりも新しく一貫教育校をつくるほうが良いのではないかと考えている。

有水委員 この前、視察に行った時に美郷町の場合は保育所や幼稚園が併設されていた。高原町の場合、町立保育所の施設が老朽化していると感じている。また、町立保育所の園児数も減少している中で、それぞれの場所にあった方が保護者としては助かるのか、町立の保育所も施設整備を新しくする考えを町としても保有していた方が良いのではないかと考えた。いずれ建て替えをする時に町の方針の中で学校に保育所を併設する考えも検討した方が良いのではと思った。

西田教育長 美郷町は2年間保育のこども園を、学校に併設している形態であった。高原町の場合は、公立の保育所や私立のこども園等があり、混在しており、難しいところがある。小中学校の統合、建設を進めているので、今後の検討課題であると思っている。

後藤委員 先程、温谷委員が言われた通り地域が高原に吸収されているイメージがある。できれば新設して、新しく学校を作るとなると子どもや保護者としても意味が違ってくると思う。新設の方が良いのではないかと思う。

有水委員 新設して新しい校歌、校章を作る。その際、それぞれの校歌、校章を新しい学校の中に残していく。校歌を聴ける機会とか展示なりをする場所を造って、それを残した上での新設学校をつくる。みんなが集まって新しく一つになったというやり方にして、そしてそれぞれの地域にはこういった校歌があったんだよと残して、聞きたいときに聞けるようなものを作っておけば良い。そういうのをして高原が一つになりますよと機運を高めた方が良いのではないか。

温谷委員 有水委員が言われていたが、各学校の校歌を時報で流していけば良

いのではないかと思うので検討していただきたい。

福丸委員

学校ができるという事を保護者や子ども達も待ちわびているので、町としても情報の発信をお願いしたい。新しい学校になると校歌等に関しては、今の校歌が無くなるという寂しい気持ちもあるが、新しい学校で生徒が一つになってやっていただいた方が、いい雰囲気が出るのではないかと思うので検討してほしい。

(2) その他

(意見なし)

次回定例会は、

令和4年2月9日(水) 午前9時30分～

西田教育長

閉会を宣告する。

◎閉 会

10時00分

議事録署名委員

西田次良

後藤良文